

協立病院の理念

私たちは患者さんに寄り添い、悩みと苦しみを共有し、ご家族・地域の方々と力を合わせ、患者さんのいのちと権利を守る病院を作っています。

協立病院だより

No.41 2012年3・4月号
発行:みさと協立病院

〒341-0016 埼玉県三郷市田中新田273-1
TEL 048(959)1811/FAX 048(959)1819
<http://www.tokyo-kinikai.com/misato/>

新年度 みさと協立病院の医療活動

4月は新しい年度が始まります。病院の職員は新年度方針と予算をたずさえ意気軒昂の時期のようです。
大葉清隆事務長にその様子を聞きました。



精神科病棟では、現状より看護師体制の厚い施設基準の申請を準備しています。

現在5月をめざして、あわせて患者様が現状より看護師体制の厚い施設基準の申請を準備しています。

（13対1看護体制と、1対1です）。この実現によって可能な範囲での精神科急性期の対応をすすめていきます。現状は15対1です）。

支援のチームを立ち上げます。精神保健福祉士と作業療法士の専従職員、専従で

はあります。看護師数名も関わるような体制を作り、積極的に地域やお住まいに訪問活動をすすめています。このチームが地域のさまざまな事業者の方々や行政や自治体と連携して地域での支援できればと願っています。

みさと協立病院では、今年度はいつそうの充実を図つてまいります。

回復期医療とりハビリテーション病棟は、脳卒中や、病後の機能回復のためのリハビリを重点的に提供して在宅復帰をすすめる病棟です。急性期の病院から地域の方々を積極的に受け入れ、30人と大所帯になります。たリハビリのセラピスト（療法士）と多職種がチームで、身体とこころの機能回復と在宅復帰を目指に応援してまいります。

まわりで心当たりのある方がいらっしゃいましたら、お気軽にご相談下さい。

「医療の特徴に合せた病棟改修」

さらに患者様の地域生活を支えるため運動に全力をつくしに大切な、通所リハビリテーション、精神科デイケア、認知症デイケアについても、

本法」制定を求める協力によって総合的に患者様に提供できることにあります。職員もこのことに確信を持っています。症デイケアについても、

就任のご挨拶

副総師長 工藤 貴美子



みさと協立病院には、2005年から2008年まで副総師長としてお世話になりました。その後、東京民医連の看護常駐理事として、臨床の看護と支援活動状況が分かるにつれて、民医連の連帯や優しさを確信できました。一病院については分からずございました。一病院においては分からずございました。3・11以後、全国の看護師人生も30数年を過ぎました。身

体と心が錆びつかないように、役に立てる間は頑張りたいと思っています。

「障害者・療養病棟機能の充実」

これは今年度新たに取り組みであります。障害者病棟は、全安心の透析医療を行なうとともに、とりハビリに必要な医学的な評価のための検査と治療を中心とし

みさと協立病院がめざしているのは、一言でいえば「「J」と身体の総合診療とケア」の活動です。少し、具体的にお話しします。

「看護体制の充実」「安心して退院ができるチームづくり」

すので試行錯誤はあります。今後につながる礎を築きます。内科入院医療では、当院の機能である回復期病棟、障害者病棟、

療養病棟がそれぞれの特色を、今年度はいつそうの充実を図つてまいります。

内閣府医療では、ます。これらの機能をいつそう充実してまいります。

た役割を担います。また難病による障害者のリハビリを提供し、力量を病院全体で向上させていくことが大きな課題と自覚しています。

そこで、友の会の以上のことを行なが、レスバイト（介護者の休憩）のためのシヨーツステイ入院も応需し、慢性期の患者様の尊厳が尊重されるケアの充実に努めてまいります。

**「地域に役立ち、地域と共に」**

すすめでまいります。こちらも、地域の皆様にぜひ利用活用していただきたいと願っています。

患者様といつしょに改修工事もようやく完成の運びとなりました。人々を苦しめる消費税引き上げ反対のとりくみ、「こころの健康を守り推進する基



当院では精神科病棟にご入院中の患者様を対象に月1回栄養科が中心となり調理実習を行っています。この取り組みは2010年8月にスタートし、現在までに計20回開催、のべ参院に向けて、自炊する力を身につけていたぐることを目指にプログラムを組み立てています。

講師は調理師、司会、助手は管理栄養士が担当します。精神科OTや病棟スタッフの方にも運営を手伝って頂きます。メニューは1回1品とし、患者会を通じて皆で話し合い決めています。

入院中の患者様を対象に月1回栄養科が中心となり調理実習を行っています。この取り組みは2010年8月にスタートし、現在までに計20回開催、のべ参院に向けて、自炊する力を身につけていたぐことを目標にプログラムを組み立てています。

患者様には調理作業を通じて、興味や勇気、自信を引き起こし、自己の欠陥を克服して、社会的に有用な能力を再確立すること、退院に向けた、自炊

加入数180名を超えてい

ます。患者様からは、退院してからも作つてみたい、美味しかった等のご意見を多く頂き、毎回、好評に終わります。

また、病棟長より、プログラムへの参加をきっかけに良い方向に向かう方も多いという評価も頂いています。

調理師からは、病棟で患者様に声をかけられるようになつた、厨房内から出て活動できることが嬉しい、仕事へのやりがいも感じられるようになつたとの意見が聞かれるようになりました。

第一回消火技能競技会

三月十四日、防災訓練の中で「第一回消火技能競技会」を行いました。当院では防災訓練の中で競

試みです。その内容は消防署への通報)および避難誘導を行い、さらに競技の途中で初期消火についての基礎問題に回答する

を大きな声で叫びながら走りだし、それ以降の競

技を真剣な表情で行いました。競技会が始まるまでは職員が参加してくれたかどうか心配でしたが、



調理には、率先して取り組む方もいれば、控えめな方もいるので、どの方も平均的に調理に取り組めるよう配慮しながら行います。

自分たちで作つたものは、いつもより美味しく感じるのか、普段は食事を残しがちな方も、この時は完食されるのが印象的であり、我々スタッフが嬉しく感じる瞬間でもあります。

今後は、初心者用のプログラムを新たに設け、より多くの方が調理プログラムに参加され、自立した生活が送れるよう支援していきたいと思います。

このプログラムで行うメニューは、割と手の込んだものが多く、調理初心者には、参加しにくいよう�습니다。

一方、進めていく中で、調理初心者の参加率が低

いということが分かつてきました。

参加した職員はスター

トの合図と共に、「火事だー、火事だー」

いきます。

みさと協立病院 だより

みさと俳壇

通所リハビリ句会

生垣の木々の若芽もほころびて

一桶の身体流すや花芽時

春遠く病みたる友に思い馳せ

題名 寒

松浦 博

山科 千鶴子

西沢 ヨシ子

春の宵亡き娘の手縫い針のあと

小松 栄子

寄りて来て戻りて寄りて春日かな

松本 無音

吉松 真喜雄

小松 栄子

寒がゆるんできそ事ばかり

3月3日 「原発さよならデモ@三郷」に参加してきました。私は原発や放射能についてあまり知識がありませんが、自分たちの生活を脅かされながら生きていることは嫌だと思いまして。参加することになりました。参加者か

3月3日 「原発対」「子供を守ろう」など様々なコールが起きて、私も他の参加者と一緒になつて声を出していました。これだけ多くの人が脱原発を望んでいること、自分もやっぱり原発はいらないという気持ちだと確認できました。

今回のデモには約9000人が集まりました。また、3月11日



作業療法士 菊地 奈央子

3・3 原発さよならデモ@三郷に参加して

ら自然に「原発反対」「子供を守ろう」など様々なコールが起きて、私も他の参加者と一緒になつて声を出していました。これだけ多くの人が脱原発を望んでいることを想像すると何なつて声を出してちになります。しかしにを迎え、犠牲になられた方、被害に遭われた方の気持ちを想像すると何なつて声を出してちになります。しかしに生きている私たちが震災のこと、社会のあり方などに

かし、これらの犠牲や悲しみを無駄にしないため、今生きている私たちを持ち続けていきたいと思っています。

東京勤労者医療会の医療・介護の充実のために 地域協同基金・寄付金・特定協力借入金にご協力下さい

(無利息)

(年利1.5%、5年間)

募集のご案内

申込用紙は当法人の病院・診療所・各事業所においてあります。
詳しくは「募集のご案内」をご覧ください。

問合せ先

医療法人財団 東京勤労者医療会
法人 経理〒151-0051 渋谷区千駄ヶ谷5-12-12 歯科センター3F
03-5366-6893 Fax03-5366-6423

青空健康相談会 再開します。

日時 每月第3金曜日
4月20日（金）14時～

場所 マツモトキヨシ早稲田店前

お気軽になんでもご相談ください。

みさと協立病院 外来診療案内 ☎ 048(959)1811 [代表]

受付時間 午前8:45~11:15/午後1:00~4:00

	月	火	水	木	金	土	
内科	午前	坂口 志朗 (9時30分開始)	鈴木 篤	生田 利夫	天笠 恵	猪岡 保裕	交替
精神科 神経科	午前	畠野 内田	大谷 松永 丹野	畠野 内田	矢花 篠原 高橋	畠野 内田 荻野	第1・3・5 畠野 第1・3 丹野 第2・4 大谷 第2・4 竹内
	午後	畠野 松永	矢花 丹野		大谷 畠野		

※ 11月12日より、毎月第2・4土曜日の精神科外来に、新たに竹内真弓医師が診療することになりました。

※ 精神科をはじめて受診される方については予約制となっています。

※ 急患の場合は先ずお電話でお問い合わせ下さい。

消費税大増税ストップ！

国民集会

日時 4月12日（木）12時～
場所 日比谷野外音楽堂

呼びかけ人：
斎藤孝雄（ジャーナリスト）、山根香織（主婦連合会会長）、
全労連・全日本民医連他多数

友の会 ニュース

編集 みさと協立病院友の会
048-959-1811 No.42

シリーズ

会員さんからの声 ④

東日本大震災から一年、原発ゼロに向けて今思うこと 藤原 勉



三月十一日を忘れない。巨大津波の恐ろしさを今後の教訓として後世に伝え、復興に生かしていく事。政府の責任で一日も早くすることが本当に急がれます。三月十一日は全国で様々な集会が、北は北海道から南は九州まで「原発ゼロ」を目指す集会が全国百五十ヶ所以上で開かれました。被災地福島県では1万6000人の参加で「原発いらない!福島県民大集会」が、また原発銀座といわれる東京では「さよなら原発福井県集会inつるが」が1200人の参加で開かれました。

私は東京の井の頭公園の集会に参加しました。現地の3人が発言しましたが、復興が進んでいないとの発言に心が痛みました。政府は復興のために消費税の値上げをと宣言しているが、それは大間違いだと云いたい。原発だつてそうだ。政府は財界、御用学者、御用評論家、官界、政界、芸能人・スポーツ関係者、マスコミ等あらゆるものと総動員して、安全神話をばらまき、事故は絶対起こらないと安全対策を怠り、その結果このような大惨事になつても誰一人反省の弁もないし、責任も取らない。特に原発を積極的に推進した大新聞、テレビには猛省を促したい。また週刊誌等で取りざたされている、バラ色の原発を振りまいした学者や文化人も充分に反省して頂きたい。財界や政府はいまだに原発に固執しているが、ほんとうに日本の将来を考えているのかと疑いたくなる。自然に囲まれた美しい日本、原発がなくなるまで私は頑張り続けたい。

サークルのお申し込み、お問い合わせは友の会事務局 048-959-1811 藤元、萩原まで

大きな声で
気分すつきり!
詩吟サークル

★第2、第4木曜日
午後7時から
★早稲田第4管理組合
★会費は月額500円



新鮮野菜
農業・園芸班

毎月1回（第2木曜日）
午前10時～12時30分
会員が育てた季節の野菜を販売しますので、是非お出かけください。
(販売する方も、募集しております)



懐かしのメロディー
カラオケ班

毎月1回（第3水曜日）
午後1時30分～
4時30分
ワオシティー屋上
カラオケインボーチ
三郷駅前店
954-2600
会費 500円

笑いの玉手箱
川柳の会

毎月1回
(不定期の水曜日)
午後1時30分～
3時00分
課題作品 3句
自由作品 3句
を持ち寄って、内容を吟味します。
投稿だけでも歓迎です。

多種多様何でも
きさらぎ会

「お茶飲み会」「野草観察会」「陶器つくり販売会」「映画鑑賞会」など会員の要望に沿った多彩な催しを不定期に行います。

